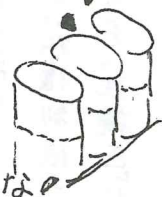


原発いらん、山口ネットワウ

2021年4月の報告

汚染水を海に流すな!

オ398号



次の集り

2021年5月9日(日) 13時30分
 場所 岡南市役所シビック交流室6
 マスクと検温をお忘れなく



4月13日、管内圏は福島オ一原発のトリチウム汚染水の海洋放出を閣議決定。

福島漁業者の猛反対、全国漁連の反対、福島県内自治体の反対決議、全国からの反対署名など、すべてを踏みにじつこの勝手な決定は許すことができません。

「原発いらん、山口ネットワウ」のケリの例を、なんとかしたいという声があがり、4月朝、「海洋放出を決定しない」という要請文を菅首相に郵送し、13日には、「抗議声明」を発表しました。
 ↓P6 堀 未果氏の意見 ↓P6
 水俣病被害者・支援者記者会見 ↓P6
 釜山の市民団体東電を提訴 ↓P6
 フレズオプアスの福田夏花さんの意見P7

老朽原発ウゴのすな!
 高浜1号 46年と5ヶ月
 高浜2号 45年5ヶ月
 美浜3号 43年4ヶ月
 すでに40年を越えたこれらの原発をさらに60年まで延長使用しようという無謀な計画に対し、地元美浜



6/6(日) 老朽原発ウゴのすな!
 大集会 in おおさか
 うつほ公園
 開会 13:00~
 デモ 14:00~
 主催: 老朽原発ウゴのすな! 実行委員会
 プログラム「老朽原発ウゴのすな!」を2枚検索

代表者 小中 進
 〒742-1513 山口県 熊毛郡 田布施町 麻郷 2208
 T.F. 0820-55-6291
 振込口座(年会費 2000円)
 (郵) 01590-5-27469
 口座名「原発いらん、山口ネットワウ」
 作製・印刷 国防灘の自然を守る会
 三浦 翠

4/12 自民党が「脱炭素社会実現と国力維持・向上のための最新型原子力コロシアム推進議員連盟」を発足させた。
 会長 福田 雅史
 顧問 古川 晋三氏
 だとうだ。

町、高浜町はずごに同意。

今、問題となつているのは(福井)県議会、県知事の態度。地元周西はもちろん全国から知事や県議会議員に「同意しない」というメールやFAXが送られたが4月24日の新聞報道では県議会は答認、知事同意と出た。

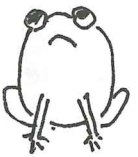
しかし、現地のネット情報によると、まだ県議会には同意を出してはいないという。どうすればとも経路的に口から金を引き出せるかを検討中というから驚きあまされる。

なぜこの国の政治はこんな腐つているのかわり、もう一度フクシマのような事故が起つたら...
 ①

福井の40年超原発に50億円
 福井県の杉本達治知事は6日、畑幸幸・県議会議長と面談し、運転開始から40年を超えた原発1カ所当たり最大25億円が国から県に交付されると明らかにした。国や関西電力による地域振興策や、住民への理解活動を説明した上で「県議会で(40年超原発の)再稼働の議論を進めてほしい」と改めて要請した。

県内には関電の高浜原発(高浜町)と美浜原発(美浜町)に40年超の原発があり、県への交付金は最大50億円となる見通し。国は、立地地域の将来を見据え、原子力研究や廃炉支援、新産業創出といった振興策を関電や自治体で議論する会議を創設し、秋にも結果をまとめるという。

4/27 杉本福井県知事は美浜3号高浜1.2号の再稼働に同意した。



4/18 松江市議選

応援した菅原やゆえさんの得票は15票、104票差で次点でした。残念です。がんばって下さった菅原さんありがとうございました。ご協力下さったみなさんありがとうございます。

同時にいわれた松江市長選では原発に前向きな候補が当選しました。この結果が政治の失作。現実を突くには何か必要が向われこいる。資源エネルギー庁の「エネルギー政策に関する意見見解」はいつの間にか終了してしまいました。締切日を知りませないのは、フェアじゃないと思います。
 ↓P8

■ 新聞記事より、脱CO2でさまざまな動きがある。

●(3/17朝日) 柏崎刈羽ゼロ防止「最悪」規制案ノ年
以上かけ追加調査。

●(3/17朝日) 日本再エネ比率21.7%、国内電力業界の
改革に遅れ

●(3/25中口) 「原発避難計画見直しを」原発は
このんだらロミマ市民の会が広島県に申し入れ。↓P⑧

●(3/25中口) 日本産食品輸入規制をお↓P⑦

●(3/25中口) 柏崎刈羽「運転禁止」命令へ。
規制委、核物質防護不備。

●(3/26中口) 玄海原発訴訟で住民控訴。

●(3/26日経) 風力環境アセス簡素化へ。有識者検
討会。

●(3/27中口) 上関大橋2車線復旧4ヶ月半がかり。

●(3/27中口) 島根2号機審議終了持ち越し。
最新知見の反映足りず。

●(3/27中口) 中電と国際協力銀行、イジリーの再エネ
化支援。

●(3/27中口) 風力発電反対の意見書。広島県安芸
大田町の住民団体。↓P⑧

●(3/28日経) 鉱山運営 脱炭素の汲。顧客企業の
要望に対応。

●(3/28朝日) 汚染土利用 全国理解進まず。福島除く
46知事アンケート、ウケ反対、賛成なし。

●(3/28日経) EV充電器足踏み。

●(3/29中口) 太陽光とEVで岡山市は電力自給95%
が可能。一國研究所が推計。

●(3/29日経) 石炭火力輸出支援を停止。首相来月
にも表明。

●(3/31日経) アサヒビル、国内4工場が4月から100%
再エネ化。

●(4/1中口) 山口県が全国唯一、50年ゼロカーボン都
市宣言。なし地帯。

●(4/1日経) アッパルの主要サプライヤー「再生エネ
100%」に半歩。

●(4/1中口) 千葉の火電計画中止。中電、JFEスチ
ール。

●(4/1日経) 住友生命、50年に、投資先CO2実質
ゼロに。

●(4/3日経) 気候変動株主圧力一段と。

●(4/3中口) 土地利用規制法案、私権制限の不安
消えぬ。基地・原発などの1区園内を「注視区」に。

●(4/4中国) 立民、基本政策を決定。

●(4/5日経) 日揮、米原発建設に参入。次世代小型炉で日米
連携。

●(4/5中口) 中電、1月7、8日、予備比率3%割れ。

●(4/7中口) 中電、福島県いわき市でバイオマス発電
稼働。出力7万5千kW。パンプシフトなどを使用。

●福井の40年超原発に50億円、国が交付。「県議会が40
年超原発の再稼働を認めろ」と要請。↓P①

●(4/7日経) 長野県立大再生エネが全電力。4月から。
給めです。

●(4/8中口) 東電社長ら、核防護不備を明せず。

●(4/11中口) 東電社長ら、核防護不備を明せず。
給めです。

●(4/8日経) 岡山の水素バイオ利用でCO2削減。徳山下松港をエネ
ルギー供給拠点に。

●(4/9日経) 農地改良CO2吸収。

●(4/10山口新聞) 祝島小、5年ぶり再開。↓P③

●(4/10中口) ユーグレナのバイオ燃料、都内給油所で
試験販売。藻類のミドリムシや廃食油でつくった。

●(4/10日経) 岡山のモリリスル、発電効率率が従来の2倍。
重さ5分の1、追尾型の太陽光発電システム開発。

●(4/11日経) 電気自動車が増え、別荘道時にガソ
リン車を上回るCO2が出る。充電する電気はフリンの
●(4/10山口) 脱炭素18事業が公募候補。政府の2兆円
基金で。↓P③

●(4/11中口) 福島第一、がれき保管コンテナ400個。
もれ懸念。

●(4/13日経) 原発新増設で自民議連充足。
↓P⑤

●(4/13中口) 処理水海洋放出方針に抗議文。「原発は
らん、山口ネットワーク」↓P⑥

●(4/14各紙) 処理水海洋放出決定。1日40トン今なお発生。

●(4/14) 処理水海洋放出。中韓、台湾批判や懸念

●(4/14中口) 中電など社カルテル疑い。
●(4/15中口) 放射線物質管理マニュアルに批判。↓P⑦

●(4/15日経) 原発の足採効率化。経産省、稼働率
向上へ提案示。

●(4/15各紙) 柏崎刈羽運転禁止命令。

●(4/15中口) 韓国処理水で提訴検討。

●(4/16中口) 海洋放出IAEA監視。

●(4/16日経) 地域間送電網容量2倍に。経産省、再
エネ普及へ計画。

●(4/16中口) 水素をグリーン世界初導入。岡南で6月にも
試運転。

ご入学おめでとうございます。



祝島小学校の入学式・再開式に臨む新生たち＝9日、上関町祝島

上関町祝島の祝島小学校が9日、5年ぶりに再開した。入学式と開校式があり、東京などから島に移住してきた家族3組の子ども3人が入学し、島民ら約60人が祝った。

岡本万咲君(6)、児玉なずなさん(6)、松永生葉さん(6)の新生3人が、島民らに拍手で出迎えられて入場した。町教育委員会の山方純教育長が開校を宣言。二宮一晃校長は「小学校での楽しい毎日が待っている。地域を元気にできる学校をつくりたい」と式辞

祝島小5年ぶり再開 上関3人入学、住民祝う

を述べた。

岡本君は「3人で遊んでいた」、児玉さんは「入学を祝ってもらってうれしかった」、松永さんは「しっかりと勉強したい」と笑顔。松永さんの父隼人さん(34)は「自然豊かで人と人とのつながりが強い祝島で自分たちらしく成長してほしい」と話した。

就学前の子どもがいる家族が島に移住してきたことを受け、島民らが町に小学校の再開を要望。雑草が生い茂っていた学校周辺の除草や清掃作業を行うなど協力し、町は休校中の祝島中学校の校舎を改修して再開にこぎ着けた。祝島自治会長(恵比須茂樹さん(71))は「望んでいた学校再開をうれしく思う。地域と一体になった学校にしてもうれば」と喜んだ。

祝島小は児童2人が転出した在校生がゼロとなったため2015年度末で休校になっていた。島の4月1日現在の人口は331人、高齢化率は77.64%で人口減と高齢化が進んでいる。

(寺田昌行)

父親ではない人もいろいろにはなして草刈り、清掃をしてこの日を迎えられるように。(4/7のネット交流会)

- (4/17中口)宇都部の石炭火力断念。中口地方の石炭火力未着工計画に。脱炭素へ世界の動き象徴。
- (4/16中口)「50年脱炭素」審議入り。
- (4/17中口)日本航空、4年に国内全線を新機に。
- (4/17中口)復興復興、トリチウム処理で秋明。
- (4/17中口)衣服由来CO₂9千トン超。
- (4/18中口)原発協定の締結、福島才「原発の手後後2倍超に。自治体と電力会社の安全協定も「覚之書」など。
- (4/19中口)汚染水の海洋放出福島意見。P⑦
- (4/20中口)新築住宅省エネ義務化へ。政行検討会、6日にも結論。
- (4/20九州入り)堤 未果氏、汚染水海洋放出決定に互る議論の「透明性の欠如」と問題と。↓P⑥
- (4/21中口)脱炭素先行10地域選定。政行の骨子案。国の人材、技術面で自治体と支援。
- (4/23中口)釜山の市民団体「釜山環境運動連合」が処理水放出禁止求め、東電を提訴。↓P⑥
- (4/22中口)「汚染水」薄めれば安全「無責任では」「総量規制」という発想。
- (4/23中口)「温室効果ガス30年46%減と首相大増上積み表明。
- (4/24中口)島根原発2号機。30日までの公営。規制季。
- (4/24中口)福井県知事、再稼働同意(。運転40年超原発、県議会は容認。↓P①



ライフサイクルアセスメント

生涯の環境負荷を評価

製品やサービスが生まれてから廃棄されるまでのライフサイクル(一生)を通じた環境負荷を評価する取り組み。LCAともいう。ライフサイクルは自動車のような工業製品であれば原料となる鉄などの資源採掘から製造、使用、メンテナンス、リサイクル、廃棄までを指す。

EVは走行時には二酸化炭素を排出しなくても、製造する際や走行時の電気使用で間接的に排出するため、ライフサイクルで環境負荷を考慮する必要がある。

世界各国が2050年の「温暖化ガス排出ゼロ」を掲げ、規制の強化に動く中、製品やサービスの環境負荷を正しく評価するためにLCAの重要性が増している。

同じことは原発についても言える。おまけに放射能が出る。死の灰の行き場もない。

裁判のこと

伊方原発再稼働差止め裁判(本訴)

2027年5月20日(木)14時

岩口支部

イベント情報

5月12日(水)11:40~
朝鮮学校に補助金復活を。県庁前座り込み

5月22日(土)14時~16時
山口市小郡ふれあいセンター
2F集会場

「眠る遺骨で造る基地
沖縄の今を聞く集い
語り人 金井創さん
(行きを同封しています)

● 例会の報告

● 参加地域 東広島市、田布施、光、下松、周南、宇部

● 小中代表より、

コロナがまた広がる傾向にあるので、注意しながら運動を進めていきたいと思います。

CO₂ゼロに向けて原発をどうしようという動きがある。大切な問題なので、しっかりと議論して、誰もが、それに反論できるようなしよ。

トリチウム汚染水の海洋放出にこんなに強い反対があるのに放出を強行することは許せない。許してはいけません。

● この日の夜、ネットを見ていて、菅首相あて「海洋放出を決定しないよう求める抗議書」を送るといふ法があることを知り、小中さんと文書をつくり翌朝(12日)郵送しました。

↓P⑧

これは福島だけの問題ではない、国民的議論にしなければいけないのに、それが充分になされないことが問題。

● 「トリチウム汚染水は、タンクがいっぱいになったから、もうどうしようもない。海に流すしかない」という報道ばかりが流されるが、他の方法がある。

● 原発ゼロをめぐる専門家がつくる「原子力市民委員会」は、ずいぶん前から、石油備蓄国に使うような大きなタンクに移して100年固定貯蔵は、トリチウムの半減期は123年なので、100近くまで放射能は減衰すると言っている。

● デブリは取り出さないと、今の場所に置いたまま空冷にすれば、これ以上汚染水は増えない。

● しかし、専門家が提唱するこのような方法はちゃんと検討もされず、報道もされない。」

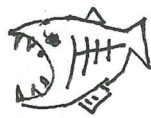
● 「今、政府が言っていることには大きな嘘がある。トリチウム汚染水と言うが、ストロンチウムなど多くの核種が含まれたものであること。」

● トリチウムは唯一害と言っているが、放射性物質

であり危険である。

● 薄めて流すから大丈夫と言っているが、放射性物質は薄められない。放射線を出す一つ一つの粒だから。風評被害と言うが、風評ではない。魚による生体濃縮されて危険である。」

● 「IAEAが認めたと言え、国際的に責任されたらのごとく言っているの、IAEAは、国際的な原発推進機関だ。」



● 3日の県内ワケ所での集会につと、宇部のようすをお知らせします。(浜野さんより)

● 3月13日(土)は宇部では、宇部、山陽小野田、美祿市から100人が集って集会とデモをしました。最近にはない大きなデモとなりました。人の多い厚南地区だったので、多くの人目にとまった。車が30台くらい後につまもってしまったが、文句を言う人はいなかった。

● 小野田で映画「日本と原発」をやった人達とか、原発に反対の人たちの横のつながりが生れるきっかけにもなつてくれた。

④

● ただマスコミ全部にボスティングしたのに一社も取材してくれなかったのは残念。

● 今回県内ワケ所での集会やデモができたことは、各地で元気が出た。

● 菅首相がテレビで「2050年CO₂ゼロを目指すには理想論だけではいけない」と、暗に「原発も必要」というような発言をしていた。



● いまだに「原発がなくなったら電気がどうするんだのか」と言う人達がいる。

● まだこんなことを思っている人がいるのは驚き。「原発なしでも電気は足りる」という事実も、記事もいっぱいあるのに、現在でも原発の電力はたくさんいざいかないのには...

●自然エネルギーが不安定というが、原発こそ不安定。地震をとまると、トランプはいつも突然おこる。そのために、常にバックアップのための火力発電所を用意して来た。

●4月5日の日経新聞によると、自民党の原発推進議連は、原発をすすめられるところは進めるという決議をしている。(千葉さんより)

●原発推進の人達は無責任すぎる。核廃止業物の問題をどうするつもりなのか。世界中どこでも解決されていないのに。(上里さんより)

●周南工業地帯には水素を作る技術はある。しかし、これを大々的に、という動きは感じられない。

●今、屋根にのせた太陽光は10年間の高値での買い取り期間をすぎると、安値で買ったのだから。蓄電池は何百万というし、電気自動車に使えばと言いつけど、これも何百万と高い。何のいふ方法はないか。(河本さんより)

●岡山市が95%自然エネルギーの方針を出している。住宅の屋根70%に太陽光パネルをのせて、EV(電気自動車)に蓄電するという。

●メガソーラーはよくない。

●中村敦夫さんの「線量計が鳴る」の全国での公演のドキュメント番組も、北陸朝日が放映。DVDを送るつもりでした。

●原子力規制庁に電話をして上岡原発のことを聞きました。(上里さんより)

●中国電力は上岡(原発)について何も申請していない。問題点があると考えておられるのならその意見をあげてほしい」ということでした。

●中電は環境影響調査の際、炉心にあたるブリーングが破砕帯に当り水がターターもれになったので位置をずらしてごまかした。

●取水口付近は地くずれ地帯であること。

●1号炉は2012年運転開始予定、2号炉は2015年

運転開始予定。これをどのまう、重要電源。周南発電地点にひつぽつて来て、「運転を」開始するその日まで指定とするのはおかしい。いったん計画を打ち切るべき。

●現地のようす。

●山中さんより。田の浦に下りる道はまた草がのびているだろう。その内草刈りをして、その様子を私のブログにのせよう。

●祝島はコロナで島民の人を受け入れられない状況が続いているが、今年も名物の梅はきれいに咲いたそうぞう。

●ビワは一月の寒波にへまり出来がよくない。

●上岡大橋は3月26日に全面開通した。

●中電のボーリング調査の許可申請は例年だと4月にはするが、今年はしていない。エネルギー基本計画が出るのを待っているのかも。

●4月9日、祝島小学校、5年ぶり再向。3人が入学。

12.4.13日付
●原発新増設で議連発足

●自民、建て替えも推進
●議連は政府が今夏にも改めるエネルギー基本計画に新増設やリプレスの推進を明記することを目指す。菅義偉首相が掲げる2050年までの温暖化ガス排出の実質ゼロも意識する。

●稲田氏は会合後、記者団に「安全性がもちろん一番大事だ。新しい安全性の技術を備えた新原発名を連ねる。」

●稲田氏は会合後、記者団に「安全性がもちろん一番大事だ。新しい安全性の技術を備えた新原発名を連ねる。」

エネルギー基本計画に「原発の新設を」入れられたら、上岡は大変なことになる。

この美しい海を
まもろう。



トリチウム汚染水を海洋放出と菅内閣が閣議決定したことへの抗議声明です。

抗議声明

菅内閣が福島第一原発の事故で生じたトリチウム汚染水の海洋放出を決定したこと
に強く抗議します。

技術者からは、重油備蓄に使うような堅牢なタンクに 100 年間保管すれば放射能線量は 1/1000 程度に減衰するという案やコンクリート固化する案(これはアメリカで実施済)も出されているにも拘らず、福島県の漁業者のこの 10 年間の血のにじむような忍耐と努力を一顧だにせず、福島県内の自治体、全国漁連の猛反対、全国の市民からの署名や抗議の声を無視して、このような決定を下したことは断じて容認できません。

基準値以下に薄めて、と言いますが、放射能の総量は変わりません。実害があるから風評が立つのです。

原発運転中も海に流していたと言いますが、これまで福島第一原発 4 基が海に流していたトリチウムの実に 400 年分の量です。

「海洋放出以外に方法がない」「実害はない」「薄めるから大丈夫」すべて嘘です。

3. 11 福島原発事故までは、原発は絶対に事故は起きないと国民を騙し続けて来て

またしても国民を騙す気ですか。私たちは、もう騙されません。

トリチウムの海洋放出の方針を直ちに撤回するよう強く求めます。

2021年4月13日

原発いらん!山口ネットワーク 代表 小中 進

〒742-1513 山口県熊毛郡田布施町大字麻郷 2208

堤 未果



21.4.20九州スーパードットコム

東電資料によると、20年3月末時点で、ALPSで2度処理後も、71%が基準値を超えているという。この状態で、希釈して海に流すという日本政府の決定に真ッ先に反応したのは韓国だ。すぐに遺憾の意を表明し、国際海洋法裁判所への提訴も辞さない姿勢を見せた。これに対し産経新聞は、韓国が16年に自国原発から136兆ベクレルを放出している事実(経産省データ)を指摘、世界各国が毎年トリチウムを放出するト



布図を掲載し、懸念を示す国々のダブルスタンダードを批判した。反対する福島漁協に向かって、菅総理は言った。「これが唯一、現実的解決策なのだ」だが本当にそうだろうか? この議論ではどっちか

2021年4月13日。日本政府は、福島第一原発敷地内にある1000基のタンクに保管中の汚染水125万トン、海洋放出することを発表した。2年後から段階的に開始し、40年を目処に完了するとい

福島第一原発の汚染水海洋放出その前に

つづみみか 国際ジャーナリスト。国連、NGO、米国野村證券を経て現職。日米を行き来しながら米国の政治、経済、医療、教育、農政、食などを幅広く取材。「報道が教えてくれないアメリカ弱者革命」(海鳴社)で黒田清・日本ジャーナリスト会議新入賞、「ルボ 貧困大国アメリカ」(岩波新書)で新書大賞、日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。「日本が売られる」(幻冬舎新書)など多数の著書があり、海外でも翻訳されている。

重要要素が抜け落ちていた。第1に、除去が難しいといえ、トリチウムの半減期は13年だ。政府の決定後に東電がタンク増設を発表したが、安易な海洋放出の前

にまずは原発周辺の敷地をフルに使い、貯蔵で放射能を極限まで減らす措置が先だろう。第2に、トリチウムだけに矮小化して海外と比較する報道が目立つが、他国が流す原子炉冷却水と違い、メルトダウンした原発汚染水には、ヨウ素やセシウム、炭素14、フルトニウム、ストロンチウムなど、トリチウムより寿命が長く危険度が高い核種が含まれており、同列ではない。他国が警戒するのはALPSが3割しか減らせていない危険核種の方なの

決定に至る議論の「透明性の欠如」こそ問題。政府は「透明性の欠如」であることをまずは猛省すべきだろう。金世昇と次世代に多大な影響を与えるこの手の決定は情報公開のしるべきありえないから。 (今回は森永卓郎氏の登場です)

「ソウル共同」韓国南部・釜山の市民団体「釜山環境運動連合」は22日、東京電力ホールディングスを相手取り、東電福島第一原発処理水の海洋放出禁止を求める訴訟を釜山地裁に起こしたと発表した。放出されれば、処理水が釜山近海に到達して魚や貝などを汚染し、原告らの生命を脅かすためとしている。韓国メディアによると、日本政府の放出決定を受けた訴訟は初めて。訴訟を担当する弁護士は「勝訴するかどうかは裁判をやってみなければ分からない。海洋放出を防ぐ方法がないため、裁判所にも訴えよう」という趣旨だと説明した。

水俣病被害者会「同じ過ち」東京電力福島第一原発の処理水を海洋放出する政府の決定を受け、水俣病被害者・支援者連絡会は19日、熊本県水俣市で記者会見し「水俣病の教訓を全く顧みず、同じ過ちを繰り返そうとする決定に断固抗議し反対する」との声明を発表した。処理水は海水で希釈して放出されるが、声明では、海洋に流れる放射性物質トリチウムなどの総量が減少するわけではないと指摘。国民の合意形成がなされない段階で放出することは許されないと批判した。

21.4.20中口

6

21.4.23中口

東京電力福島第1原発のトリチウムなどの放射性物質を含んだ処理された汚染水について、政府が海洋放出を決めた。陸上での保管や処分といった代替案は真剣には検討されておらず、議論も尽くされていない。受け入れがたい決定である。

福島県漁業協同組合連合会(県漁連)は繰り返し「海洋放出には断固反対」というスタンスを表明し、政府の海洋放出を求めないという意見を表明した。また、県漁連は「全漁連」も海洋放出に反対の要請書を経済産業相に提出し、岸会長は意義を首相に絶対反対を伝えた。

国際環境NGO「F.O.E Japan」理事・事務局長

満田 夏花

まで一部の地下水などの海洋放出を承せざるを得なかった時、トリチウム以外の放射性物質を取り除く多核種除去設備(ALPS)の処理水に関しては、東電に「関係者の理解なしには処分をしない」と約束させた。この約束をほごにしてはならない。

処分方法を検討した政府の小委員会でも、敷地北側のスペースを活用するため、そこに土を中間貯蔵施設に運び出す可能性が委員から指摘されたが「調整に時間がかかる」という理由で退けられた。調整に時間がかかることは海洋放出も同様のはずである。

今からでも議論を尽くせ

識者 評論

原発処理水の放出決定

政府は東京電力福島第1原発で増え続ける汚染水の処理後の水について、海洋放出することを決めた。反対する漁業者などの十分な話し合いがないままの強行だ。議論は尽くされたのか。放出以外には方法はないのか。識者が論じた。



みつた・かな 67年東京都生まれ。東京大卒。17年4月から現職。18年から原子力市民委員会座長代理を務める。著書に「福島と生きる 国際NGOと市民運動の新たな挑戦(共著)など。

風評被害に

「追い打ち」

東京電力福島第1原発の廃炉・汚染水・処理水対策福島評議会が18日、福島県いわき市で開かれ、政府や東電が、処理水の海洋放出に関する方針を改めて説明した。地元自治体や関係団体は原発事故以来、続いてきた苦境を挙げ「風評被害に追い打ちがかかる。地域産業の支援拡充を」などの意見を訴えた。会合には市町村の首長のほか商工

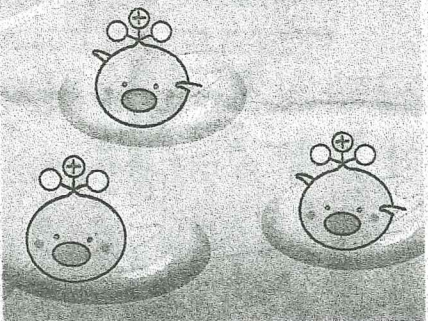
会、農業や観光など各種団体の代表者が出席した。「放出には反対」。県漁業協同組合連合会の野崎哲会長は改めて強調し、政府の放出方針は関係者の理解を得ておらず信頼性に疑問がある、と主張した。富岡町の宮本皓一町長は第1原発事故の風評がいまだに払拭できていないとし「さらに一歩踏み込んだ対策を求める」と述べた。県農業協同組合中央会の菅野孝志会長は、県産品の輸入規制が海外で続いている点に触れ「国が責任を持って規制解除に向けた国際的な説明を」と要請した。

日本産食品 輸入規制なお 福島原発事故受け15カ国・地域

Table with columns: 国・地域, 対象都県, 対象品目. Lists countries like China, Hong Kong, Macao, Taiwan, South Korea, and the US with their respective restricted food items.

放射性物質キャラに批判

復興庁、公開休止し修正へ



復興庁の動画に登場するキャラクター化されたトリチウム(同庁ホームページより)

トリチウム汚染水は飲んでも大丈夫(衛生面)と言ったり、みんなキャラを作ってみたり。核の恐ろしさを知りたい人達が、原子力政策を動かしているのは恐怖だ。

貯留されている水のトリチウム総量は約860兆ベクレル。福島第1原発が事故の翌年から、タンクの水の7割以上でトリチウム以外の62核種が全体として基準を上回っている。東電は2次処理を行うとしていたが、最終的にどの核種がどれくらい残留するかの説明がない。

～3・11から10年

さよなら上関原発 福島を忘れない～

さよなら上関原発ネットパレード大盛況！

昨年に続き、コロナ禍の影響を受けて、今年も3月に行われる「上関原発を建てさせない山口県大集会」は各地分散集会となった。また、上関原発を建てさせないという民意を示そうと2月1日から3月末の2か月間にわたって、「さよなら上関原発ネットパレード」を行った。特設のホームページも作り、随時国内外から集まったボードや写真を載せていった。ドイツのケルンにある大聖堂前から、さよなら上関原発の意志と福島の汚染水の海洋放出反対の写真を送ってくださった仲間もいた。すごく嬉しかった！また、東京や関西、九州など全国各地からたくさんのメッセージボードや写真が集まった。中には、祝島の月曜デモに連帯しネット上で行う月曜デモに合わせて送ってくださる人もいた。「上関原発を建てさせない山口県大集会実行委員会」が山口県庁で開いた記者会見でも、メッセージボードをあげるパフォーマンスをして盛り上げた。記者会見では、山口県民の上関原発反対！3・11から10年福島を忘れないという反原発の民意を示すため県内各地で行われる様々な取り組みを発表した。

各地の集会には「原発いらない福島の女たち」の黒田さん、岩国市から福島県いわき市に転居された大川牧師、若狭の原発を考える会・木原壮林さん、韓国の核廃棄のための全国ネットワークからも連帯メッセージが届いた。

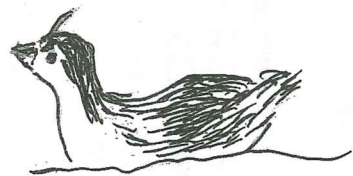
県内7カ所で様々な催しを開催
県内7カ所の参加者を合わせると、優に500名を越える。また、ネットパレード参加者は、200名を越えた。2021年の上関原発を建てさせない取り組みは、山口県内各地で盛り上がり、成功した。

4月12日、自民党は「脱炭素社会実現と国力維持・向上のための最新型原子力リプレース推進議員連盟」の設立総会を国会内で開いた。原子力発電所の新增設や既存施設のリプレース（建て替え）を推し進めるためのもので、稲田朋美元政調会長が会長に就任し、安倍晋三前首相らが顧問に就いた。

「脱炭素」を原発推進に利用する動きを許さず、全ての原発を廃炉にしていこう！

(被爆二世の会の中正植さんより)

- ・寺中さんは夫妻で、ネットパレードの企画をされました。
- ・各地の様子も前号でお知らせしました。山口市では90人の集まりとデモ。カンリウミスズメの字身展も開かれまし



24日、中国 処理水海洋放出 国方針に抗議文

上関原発反対の団体
政府が東京電力福島第1

原発の処理水を海洋放出する方針を固めたことに抗議し、中国電力の上関原発建設計画に反対する市民団体「原発いらんー山口ネットワーク」（小中進代表）は12日、海洋放出を決定しないよう求める要請書を菅義偉首相宛てに郵送した。

要請書では、処理水に放射性物質のトリチウムが含まれることから「風評被害だけでなく、実際に環境が大量の放射能で汚染される」と主張。危険性の説明も不十分と指摘し「人々の安全をないがしろにしている。処理水は事故を引き起こした政府と東電の責任で陸上で保管するよう」と訴えている。

事件・事故
覚醒剤所持疑いで逮捕

21.4.10日経

処理水放出に中韓反発

輸入規制強化の懸念も

【ソウル＝恩地洋介、北京＝羽田野主】日本政府が東京電力福島第1原子力発電所の処理水を海洋放出する方針を固めたことに、韓国と中国は相次いで反発している。両国は東北や関東などの一部で生産された食品の輸入を止めており、今後規制が強化される可能性もある。（一面参照）

韓国の報道を引用し、日本政府が海洋放出の方針を固めたことに対し、韓国も原発で発生した処理水を海に放出しているが、事故を起こした福島第1原発の処理水に対しては一部の市民団体やメディアが危険だと主張し、反発している。韓国政府はかねて日本側に事前の情報共有を求め、済州道知事は放出の準備が進められた場合は日本政府を相手取って国際裁判所に提訴する考えを示している。

中国外務省の趙立堅副報道局長は9日の記者会見で、原発処理水の放出の影響について「積極的かつタイムリーに正確で、透明な方法で情報を開示し、周辺国と十分に協議のうえで慎重に決めるべきだ」と主張した。

「原発避難計画見直しを」
広島市の市民団体「原発はごめんたヒロシマ市民の会」や広島県原水禁などは24日、中国電力島根原発（松江市鹿島町）で事故があった場合の住民避難について、新型コロナウイルスに対応した見直しをするよう広島県へ要請した。

地域社会

破壊の大罪

人が去り、草が生い茂った仮設住宅

原子力ムラの

懲りない逆襲

倉重篤郎の
ニュース
最前線

元経産官僚

古賀茂明

フォトジャーナリスト

豊田直巳が徹底検証

日本と世界を震撼させた福島原発事故から10年。政府は復興を呼号してきたが、反省なき原発ムラは再稼働を目論み、被災地には困難が継続している。ニュース最前線が上下2回にわたってお届けする、原発事故の徹底検証。今回は元経産官僚で脱原発を模索してきた古賀茂明氏と、被災地の現実を報じ続けてきたフォトジャーナリストの豊田直巳氏に聞く。

福島原発事故から10年。我々は何を変え何を变えることができなかったのか。事故前動いていた54基の原発は、今や24基が廃炉となり、再稼働が認められたのは27基の申請のうち9基のみだ。一方で、再生可能エネルギーの進展は、その指標となる最安電源の価格比では、日本74%と、英42%、米36%、中国33%（いずれも1000キロワット時）『日経新聞』3月1日付）と周回遅れとなってしまった。我々は何を失い、さらにどこまで失うのだろうか。除染、補償、廃炉などこれまでかかった費用は11.2兆円（3月2日参院予算委での小早川智明東電社長答弁）、将来的には、80兆円を上回るとの試算（日本

経済研究センター）もある。負担はカネだけではない。あの事故で避難した住民16万人のうち4万人が、まだに自宅に帰れない状態が続いている。いわゆる「震災関連死」と認定された人の数は、2316人（1月8日現在）にのぼり、NHKの調査によると、避難回数は平均で3.9回、4人に1人が県外死だった。2回にわたり報告する10年目の真実。初回は、我々が変わらなかつたもの、失ったものについて語る。変えられなかつたもの。それは、原子力ムラのなお残る影響力だ。世界が脱原発・再生エネに動く中で、なぜ事故元の日本がその脱皮に大きく遅れたのか、との疑問への回答でもある。

失ったもの。それは故郷であり労働の場であり人々が生きていくのに必要な地域コミュニティである。つまり、ムラが残り、村が滅びた。ムラについては、元経産官僚の古賀茂明氏に聞く。原子力ムラを熟知、霞が関ウオッチャーとしてもその中枢の腐敗を歯に衣着せず批判してきた人である。ムラはどう残った？

「事故直後の2011年3月末、東電の株価が下落、3メガバンクが経産省の要請で、低金利、無担保無保証で2兆円の緊急融資をした時、ムラの存続がはつきりした。僕は、まだ経産省にいて、この2兆円は特別背任だと直感、発送電分離も含めた東電破たん処理案を作り、建言したが、受け入れられなかつた」

「事故直後、計画停電で経産省内でも電気を落として廊下が真っ暗という時があ

った。暗いエレベーターホールで担当課長とすれ違った。彼に東電は早く破綻処理しろと、今しかチャンスはないと言ったら、そいつは血相変えて僕をもっと暗い廊下に連れて行って、東電破綻なんて言わないでください、日本は崩壊しますよと言ったのを覚えている」

「東電と経産省との間に闇取引があった。原子力損害賠償法上の事故責任者を誰にするか。東電は同法の免責規定を使って自分たちの責任を逃れようとしたが、そうなることなんて危ないものを作った経産省の責任が問われる。経産幹部が東電首脳に免責規定活用を思いとどまるよう懇願、最終的に東電も応じた。つまり、経産省は自らの責任問題をうやむやにすることに成功し、東電は世論の批判を一身に背負うものの、『絶対につぶさない、最後まで守る』との約束を得たことになる」

世論が強いので表では戦わない。ただ裏では、原発は絶対残し、それをどう動かすのか、という方向で、除染、補償、廃炉スケジュールを決めた。内閣府の被災者対策チームに経産省から大量に役人が出向したが、他省庁出向者が「経産省はおかしい。被災者をどう助けるかではなく、東電をどう助けるかで、計画が決まっている」と言っていた」

ムラの逆襲が始まった。

「第一に、原発がないと電力が足りない、電力価格が目茶目茶に上がる、と国民を脅し続けた。実際は、原発がなくても問題なく電力供給が行われている」

「第二に、再生可能エネルギーを認め、脱原発派の機嫌取りをした。国民の目を脱原発から再生エネに逸らし脱原発世論を沈静化させようとした。再生エネはやはり高い、という世論作り

自民も民主もムラの言いなりだった

原発存続か否かは？

「その議論は行われなかつた。哲学者らを集めて一から議論し直したドイツと違うところだ。原発をやめると言えない不文律のようなものがあつた。自民党の大部分も時の民主党政権も組合（電力総連）を通じムラの言いなり。私のように原発はやはり無理だと言うリス

クを取る者は出なかつた。政界中枢が脱原発もありうるという前提で議論すれば、東電破たん処理も、除染、汚染水処理対策でも別のやり方があり得た。ここにドイツとの差が出た」

「5月上旬、東電の株主総会に向けた準備をしていた段階で、ムラは長期戦の構えを固めた。反原発の国民

くらしげあつろう 1953年、東京都生まれ。78年東京大教育学部卒。毎日新聞入社、水戸、青森支局、整理、政治、経済部。2004年政治部長、11年論説委員長、13年専門編集委員

こが・しげあき 1955年生まれ。政治経済評論家。元経産官僚。産業再生機構執行役員、内閣審議官などを経て2011年退官。著書に『日本を壊した霞が関の弱い人たち』など

とよだ・なおみ 1956年生まれ。フォトジャーナリスト。世界の紛争地取材し、戦争の実態と、被害を受けた人々の姿を報じてきた。著書に『福島を生きたる人びと』など



も怠りなかった。電気料金... 領収書にもF.I.Tで高く... 第三に、原子力規制委員... 規制庁と経産省との間の人... 事交流は絶対禁止ならぬ... 『原則』禁止にして穴を残... した。今や経産の植民地に... になっている。事故原発の収... 束計画作りが優先されるべ... きなのに、再稼働を念頭に... 規制基準作りを急いだ」



「第四に発送電分離改革の... インチキだ。同じ会社の兄... 弟会社や子会社にして、発... 電と送電と小売りが実質的... に一緒になっている。結局... このままだと新電力はみん... なつぶれていく。もう一回... 改革したほうがいい」

「構造的なものだ。電力会... 社の政治、霞が関、メデイ... アに対する圧倒的支配力の... 余勢がなお残る。政治家を... 政治資金と選挙協力で与野... 党共に抑えている。霞が関... は資源エネ庁はいわゆる規... 制の虜となり、電力は最高... の天下り先、運命共同体化... していた。メディアには電... 力に干されたら大変という... プレッシャーを与え続けた... 電力を批判すると細かくチ... エックが入る。上がピリピ... リしていて現場のディレク... ターも面倒になる」

文化、つまり一緒に飲まな... いと本音の話ができないと... いう土壌は変わらなかった... 特に幹部クラスはそうで、... 規制がちよっとずつ緩めら... れ、問題にならなければい... いとなくなってきた。モラル... 低下は安倍晋三政権の森... 友、加計事件で一気に加速... された。安倍氏の加計老太... 郎氏とのゴルフ、会食には... 秘書官がご相伴にあずかり... 結構な金を散財させた。国... 家戦略特区の責任大臣であ... る安倍氏がそこに申請して... いる加計氏からゴルフ、そ... 文化、つまり一緒に飲まな... いと本音の話ができないと... いう土壌は変わらなかった... 特に幹部クラスはそうで、... 規制がちよっとずつ緩めら... れ、問題にならなければい... いとなくなってきた。モラル... 低下は安倍晋三政権の森... 友、加計事件で一気に加速... された。安倍氏の加計老太... 郎氏とのゴルフ、会食には... 秘書官がご相伴にあずかり... 結構な金を散財させた。国... 家戦略特区の責任大臣であ... る安倍氏がそこに申請して... いる加計氏からゴルフ、そ...

放射能の時間と人間の時間の落差

村がどうなったか、につ... いては、放射能汚染で廃業... 故郷を追われた福島県飯館... 村の酪農家たちに密着し、... その苦闘、喜怒哀楽、有為... 転変を追ったドキュメンタ... リー映画「遺言」(14年公... 開)再上映に多くを学んだ... 4時間近い長編だが、家族... 確かに全般的には下がって... きた。最初は強かったヨウ... 素は半減期8日だからこれ... はほとんどゼロとなってい... る。セシウム134は半減... 期2年だから、32分の1く... らいでほとんどわからない... くらいになってきた。だが、... 残ったセシウム137は半... 減期が30年。ということは... 100年でやっと10分の... 1、200年でやっと10... 0分の1だ。そういう時間... の幅の汚染が続いていく中... で、人々が今後どうしてい... くのか、という問題だ」

の他飲食接待を受けていた... 完全な贈賄事件だが、そ... れが見逃された。霞が関... はあれでも大丈夫なんだと... 安心、さらに緩んだ」

「今回の総務省接待は、菅... 義偉首相の長男がいるので... 断れない、可哀想だ、との... 声もあるが、僕はそうは思... わない。俺もようやく菅フ... アミリーに入れたという動... 機もあったのではないか... 同省の上層部は菅氏に取り... 立てられた人ばかりだ。い... やいやではなく割と喜んで... 行ったのではないか」

ムラを解体し、村を再生させる

「政府が言うような復興は... あり得ない、というのがこ... の間の取材で得た僕の確信... だ。避難指示を解除し帰還... できますと言っても元のコ... ミュニティーはもうない... し、その復活はあり得ない... すでに皆バラバラになって... いる。避難先で子育てし始...

「自分の苦しさをなかなか... 言えない社会になってい... る。10年たつてまだそんな... こと言っているの、という... ことが友人間でも起きてい... る。子育て世代でもそうだ... 言うに変な人に思われる... 語らない。だからメディア... にも出てこない。ますます... 自分に向かっています。こ... の10年で震災関連自殺が2... 40人とされるが、約半... 数の118人が福島だ」

「このまま風化していくと... 次世代は大人になって福島... 事故のことを勉強で学ぶ形... になる。そのためにも映像... 記録を残さなければならな... いと思ってる」

「この10年何だったか?」
「戦後の私たちに問われた... となつた。その後編である... 『サマシヨール(ロシア語... で自主帰還者)』(21年公開... 現在ポレポレ東中野で上映... 中)と合わせ、被災者の目... からこの10年を見つめ直し... た連作である。... 共同監督の豊田直巳氏は... フォトジャーナリストとし... て、中東、アジア、バルカ... ン半島などの紛争地をめぐ... り人々の日常を取材、数々... のルポ、写真集を通じて平... 和の意味、今の日本を問う... てきた人である。福島には... チェルノブイリ取材からの... 帰国後、原発翌日から線量... 計を手に入れた、という... それにしても、よくぞそこ... まで被災者に寄り添い、彼... らの信頼を得て、密度の高... い映像をお撮りになった... 『まだ普通の人は誰も線量... 計も持ってないし、シーベ... ルトと言われても意味が分... からない時だった。事故直... 前までチェルノブイリにお... り、劣化ウラン弾取材の経...

「戦後の私たちに問われた... となつた。その後編である... 『サマシヨール(ロシア語... で自主帰還者)』(21年公開... 現在ポレポレ東中野で上映... 中)と合わせ、被災者の目... からこの10年を見つめ直し... た連作である。... 共同監督の豊田直巳氏は... フォトジャーナリストとし... て、中東、アジア、バルカ... ン半島などの紛争地をめぐ... り人々の日常を取材、数々... のルポ、写真集を通じて平... 和の意味、今の日本を問う... てきた人である。福島には... チェルノブイリ取材からの... 帰国後、原発翌日から線量... 計を手に入れた、という... それにしても、よくぞそこ... まで被災者に寄り添い、彼... らの信頼を得て、密度の高... い映像をお撮りになった... 『まだ普通の人は誰も線量... 計も持ってないし、シーベ... ルトと言われても意味が分... からない時だった。事故直... 前までチェルノブイリにお... り、劣化ウラン弾取材の経...